

平成28年度 桃山東小学校 学校経営構想

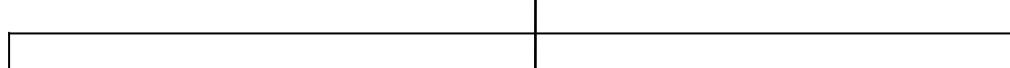
今後、未来は予測することが困難なほど大きく変化すると言われているが、その未来を豊かにするのも 切り拓くのも 今を生きる子どもたちである。子どもの可能性を最大限に引き出し、他者と共に生きる子どもの育成に向け、教職員の力を結集し、保護者・地域とのつながりを大切にしながら取組を推進する学校づくりを目指す。

学校教育目標

豊かな未来を切り拓き、夢に向かい、共に生きる子を育てる

めざす子どもの姿

○元気にあいさつする子 ○人を大切にする子 ○しっかり勉強する子 ○きまりを守る子



「確かな学力」の定着・向上

- ・基礎・基本の確実な定着と自己学習力の育成
- ・めあてを明確にしたわかる学習
- ・言語活動と協働活動のある学びの形成
- ・ノート指導の徹底・継続・波及
- ・読書活動の推進
- ・家庭学習の充実

「豊かな心」の育成

- ・学校生活や社会における規範意識の醸成
- ・自己指導能力の育成
- ・人を大切にする心の育成・道徳教育の充実（学年交換道徳）
(6月・11月道徳月間)
- ・児童主体による協働的な体験活動の推進

「健やかな体」の育成

- ・「ジャンプ・アップ」を取り入れた休み時間の遊びの充実
- ・食に関する指導の充実
- ・健康・安全教育の充実
- ・体育の学習を中心とした体づくり
- ・学校美化の推進

追求する教職員の姿

- 一人一人の子どもを徹底的に大切にするという京都市の教育理念を理解した教職員
 - ・子どもへの深い愛と理解で子どもを伸ばす
 - ・子ども・保護者・地域の人々に信頼される
- 確かな指導力（実践力）のある教職員
 - ・子どもが主体的に学ぶ授業を創る
 - ・問題解決的な学習を進める
- 使命感・責任感のある教職員
 - ・職務に専念し、積極的に研修を積み、自らを高める

期待する家庭の姿

- 子どもの安定した「学び」を支える家庭力
- ・規範意識の醸成への理解と協力
- ・基本的生活習慣の確立
- ・家庭学習や読書の習慣化
- ・子どもを共に育む学校・家庭、相互の役割を明確にした連携

信頼され開かれた学校

- 保護者・地域に身近な学校
 - ・積極的な情報発信・学校公開
 - ・地域の達人や歴史の探究を通して地域と関わり・つながる
- 明るく清潔で美しい学校
- 成長し続ける活気ある学校

学校経営方針

① 学校教育目標を具現化するための重点達成

重点

自ら進んで考え、共に学ぶ子どもの育成

◇様々な場面で自分の意志や判断でよりよく行動する態度

◇社会の一員としてのふさわしい態度

○分かる楽しい授業づくり

- ・問題解決的な学びのある学習の形成
- ・学びの楽しさが実感できる学習
- ・家庭での自学自習の習慣をつける

○望ましい人間関係づくり

- ・桃山東小学校が大好きということを実感できる「安心感・存在感・一体感・達成感」のある学校・学年・学級経営を行う。
- ・児童の意見やアイデアを引き出し、主体的に活動する知・徳・体のバランスのとれた児童を育成する。
- ・自己肯定感・自己有用感を高める。
- ・他者を思いやり、支えあう協調関係の中で、自律的にふるまうことができる指導の徹底。
- ・気持ちの良い言葉・明るい挨拶運動の実施。

○健康・安全な環境づくり

- ・清潔な環境、安全で学びやすい環境づくりのため、掃除の徹底・教材教具の点検・整備
- ・学習意欲が高まる教室揭示

②課題の共有・共通実践

○報告・連絡・相談を密にし、課題を共有する。

○共通理解をした教育活動は、共通実践を徹底し、継続する。

③コミュニケーションの充実・協働体制

○教職員の持ち味や個性を相互に引き出し、組織力を高める。

- ・打ち合わせや会議・事務の効率化と部会の有効活用
- ・学年会による「話コミュ」(学級を 学年を 学校全体を)
- ・学年主任会

④家庭・地域との連携

○学校だより・学校ホームページなどあらゆる機会を通じて、学校の取組を積極的な情報発信を行い、開かれた学校づくりを行う。

○各家庭での「我が家の約束」作成を呼びかける。

○地域の自然・歴史・人材を活かした体験活動の重視